

○ CSVファイル作成に当たっての留意事項

(1) 各項目共通

- イ レコードごとに行末で改行を行ってください。
改行コードは、「CRLF」、「CR」、「LF」のいずれも許容します。

(例) 4レコードのCSVファイル構成例 1.1.5,... ← MessageSpec (必須:1行目) 2.2.1234567890123,... ← RCASP (必須:2行目) 3.1.UK,... ← CryptoUsers 5.1.4H95J0R2X,... ← RelevantTransactions (CryptoUsersに紐付く) ※Controlling Person (レコード種別4)は存在しない場合、入力不要です。 ※レコード種別(1～5)の詳細は(4)を参照。

- ロ 各項目内に半角文字の「(カンマ)」を使用する場合、各項目を「”(ダブルクォーテーション)」で囲ってください。

(例) データ値が「xxStreet9999, xxxbldg.」の場合 "xxStreet9999, xxxbldg." ← CSV上の記載 ※カンマを含むため、項目全体を半角のダブルクォーテーション(")で囲う。

- ハ 各項目内に改行コードを使用する場合、各項目を「”(ダブルクォーテーション)」で囲ってください。
改行コードは、「CRLF」、「CR」、「LF」のいずれも許容します。

(例) データ値が「xxStreet9999 (改行) xxxbldg.」の場合 "xxStreet9999 (改行) xxxbldg." ← CSV上の記載(1つの項目) ※改行はレコードの区切りとして認識されるため、データ内に改行を含む場合は項目全体を半角のダブルクォーテーション(")で囲う。
--

- ニ 「”(ダブルクォーテーション)」で囲んだ項目において、項目内に「”(ダブルクォーテーション)」を使用する場合
項目内のダブルクォーテーションの直前にひとつダブルクォーテーションを付加してください。

(例) データ値が「xxStreet,"9999" Building」の場合 "xxStreet,""9999"" Building" ← CSV上の記載 ※項目内に半角文字の「(カンマ)」を使用しているため、項目をダブルクォーテーション(")で囲む必要がある。 また、項目内にダブルクォーテーション(")が使用されているため、項目内のダブルクォーテーションは""(2つ連続)にして入力する。
--

(2) レコード数及びファイル容量

CSVファイルのレコード数の上限は、全レコード種別の合計で99,998件です。
なお、改行コードのみのレコード(空行)および各項目内の改行は、カウントされません。
また、変換後のXMLファイルの容量を、19MB以内とする必要があります。

(3) 利用可能文字

基本ラテン文字のみ利用可能です。なお、文字コードはシフトJISで入力してください。

(4) 各レコードの入力方法

- イ CSVレコード種別を以下のように規定します。各種別の入力方法は以下の1～5を参照してください。

CSVレコード 種別	人格種別 又は 取引種別	入力方法
1:MessageSpec	-	報告データの基本情報を入力します。 1CSVファイルに1レコードのみ入力が可能です(1行目)。
2:RCASP	1:個人 2:事業体	報告データの作成と提出を行う報告暗号資産交換業者等の情報を入力します。 1CSVファイルに1レコードのみ入力が可能です(2行目)。
3:CryptoUsers	1:個人 2:事業体	暗号資産等取引実施者の情報を入力します。
4:Controlling Person	-	「3:CryptoUsers」に紐付く実質的支配者が存在する場合に、当該実質的支配者に係る情報を入力します。 必ず紐付くCryptoUsersよりも後ろ、かつ、次のCryptoUsersよりも前にレコードを配置してください。 また、紐付くCryptoUsersに係る全てのRelevantTransactionsよりも前に配置してください。 (レコードの位置によってCryptoUsersに紐付けされます。)
5:RelevantTransactions	0:関連取引なし 1:CryptoToCryptoIn 2:CryptoToCryptoOut 3:CryptoFiatIn 4:CryptoFiatOut 5:CryptoTransferIn 6:CryptoTransferOut 7:TransferWallet 8:RRPT	「3:CryptoUsers」に紐付く関連取引情報を入力します。 必ず紐付くCryptoUsersよりも後ろ、かつ、次のCryptoUsersよりも前にレコードを配置してください。 また、紐付くCryptoUsersにControlling Personが存在する場合は、当該Controlling Personよりも後に配置してください。 (レコードの位置によってCryptoUsersに紐付けされます。)

- ロ CSVレコードは、以下の順序で入力してください。

・1レコード目:CSVレコード種別1
・2レコード目:CSVレコード種別2
3レコード目以降は、同一のCryptoUsersごとに、以下の順序で入力してください。
・CSVレコード種別3
・CSVレコード種別4(該当する場合のみ)
・CSVレコード種別5
※レコード種別4, 5は、必要に応じて、同一のCryptoUsersごとに複数レコードを記載することができます。

(入力例)
※UserA, UserBは異なるCryptoUsersを表します。

(正) 1,...(省略).... 2,...(省略).... 3.UserA,...(省略).... 4.UserA,...(省略).... 4.UserA,...(省略).... 5.UserA,...(省略).... 5.UserA,...(省略).... 3.UserB,...(省略).... 4.UserB,...(省略).... 5.UserB,...(省略)....

(誤) 1,... 2,... 3.UserA,... 5.UserA,... ←順序が誤り 4.UserA,... ※レコード種別4と5が正しく配置されていないため誤り
